

【講義と演習③】  
就労支援の実施方法 I

ハローワークで実施している相談支援・取組等  
支援手法について

～平成27年度就労準備支援事業従事者養成研修資料～

平成27年12月9日(水)



千葉労働局 ハローワーク市川  
就職支援ナビゲーター 南川 文

# 今日の講義のテーマ

ハローワークと連携し  
チームとして  
やっけていきましょう！

# お話する2つのポイント

自治体(市川市・浦安市)とハローワーク市川との連携の状況

ハローワークと連携することのメリット

# 生活困窮者支援で気付いたこと

- どのような対象者でも職業相談のスタンスは基本的には同じ
- 労働市場の厳しい現実を伝えることも重要

プラスして

- さらに「受け止める・寄り添う」姿勢が必要
- 様々な課題解決に携わるメンバーが同じテーブルについて意見を出し合うことも必要

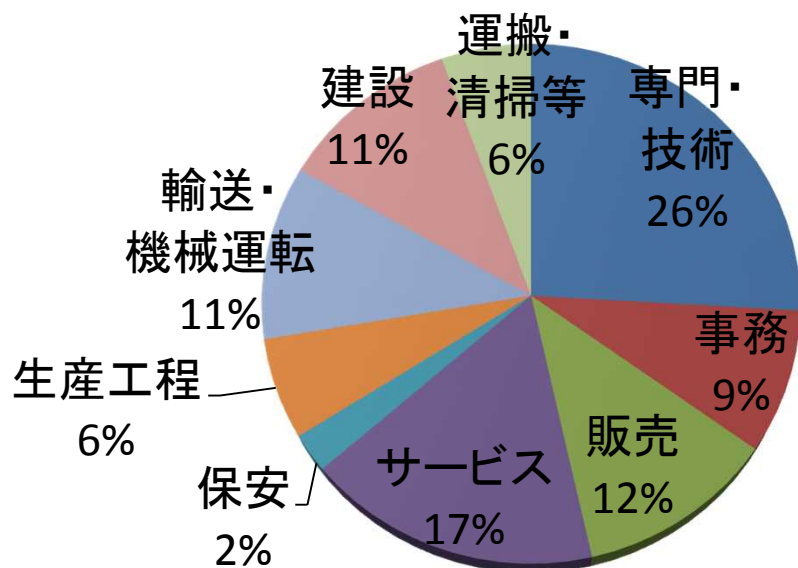
# ハローワーク市川の管轄地域



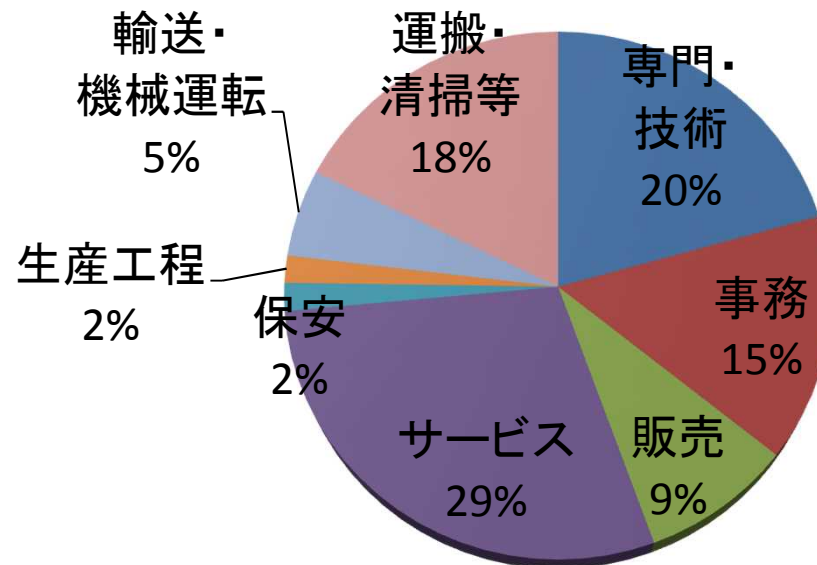
# 管轄地域内の有効求人(職種別)

平成27年9月現在

## 常用フルタイム



## 常用パート



厚生労働省編 職業分類表による

※**専門・技術**: 各種技術者、情報処理、看護師、福祉専門職など

**サービス**: 生活支援・介護・飲食サービス、マンション・ビル管理など

**建設**: 建設工事、土木工事、電気工事など

**運搬・清掃等**: 配達員、倉庫作業員、清掃など

就職に結びついた実績の多い職種としては、生産工程や運搬・清掃に係る軽作業が挙げられます

# ハローワーク市川 生活保護受給者等就労自立促進事業 担当就職支援ナビゲーター 人員体制

市川市役所内  
常設窓口(常駐2名)

就労サポートいちかわ

- 生活保護受給者
- 児童扶養手当受給者
- 生活保護申請相談段階の方
- 生活困窮者自立相談支援窓口の利用者のうち就労支援が必要な方

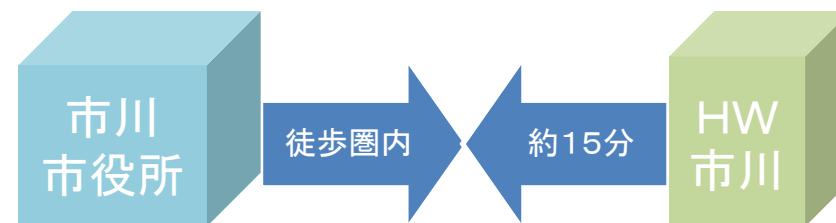
※原則、市川市の各施策利用者

ハローワーク市川(5名)

- 生活保護受給者
- 児童扶養手当受給者
- 生活保護申請相談段階の方
- 生活困窮者自立相談支援窓口の利用者のうち就労支援が必要な方

※市川市担当・浦安市担当に分かれており、市川市、浦安市の各施策利用者全般を担当する

# 市川市



## 市役所内に設置している常設窓口と ハローワーク市川本所の両方で支援を実施

- 常設窓口(就労サポートいちかわ)での対応

市の生活保護相談窓口及び生活困窮者の自立相談支援窓口  
に隣接しておりタイムリーな連携が可能

- ハローワーク市川本所での対応

雇用保険受給手続きや職業訓練申し込み等、  
ハローワーク市川本所でしか対応できない案件もある

→ハローワーク市川本所につなぐ、

もしくはチーム面接の段階からハローワーク市川本所で  
対応することもある。



# 浦安市



## 週に1回の巡回相談の実施

(就職支援ナビゲーターが浦安市役所に出向き市役所内で生活保護受給者等就労自立促進事業対象者の相談を行っている)

### 【巡回相談の内容】 ※いずれも予約制

- 支援対象者との職業相談・職業紹介
- 支援候補者とのチーム面接  
(基本的には支援候補者・市担当者・就職支援ナビゲーターの3者)

緊急を要する場合は支援候補者・市担当者の方がハローワークへ来所しチーム面接を行うことがある

# 生活困窮者支援 市川市との連携

(市とハローワークが徒歩で15分の距離)

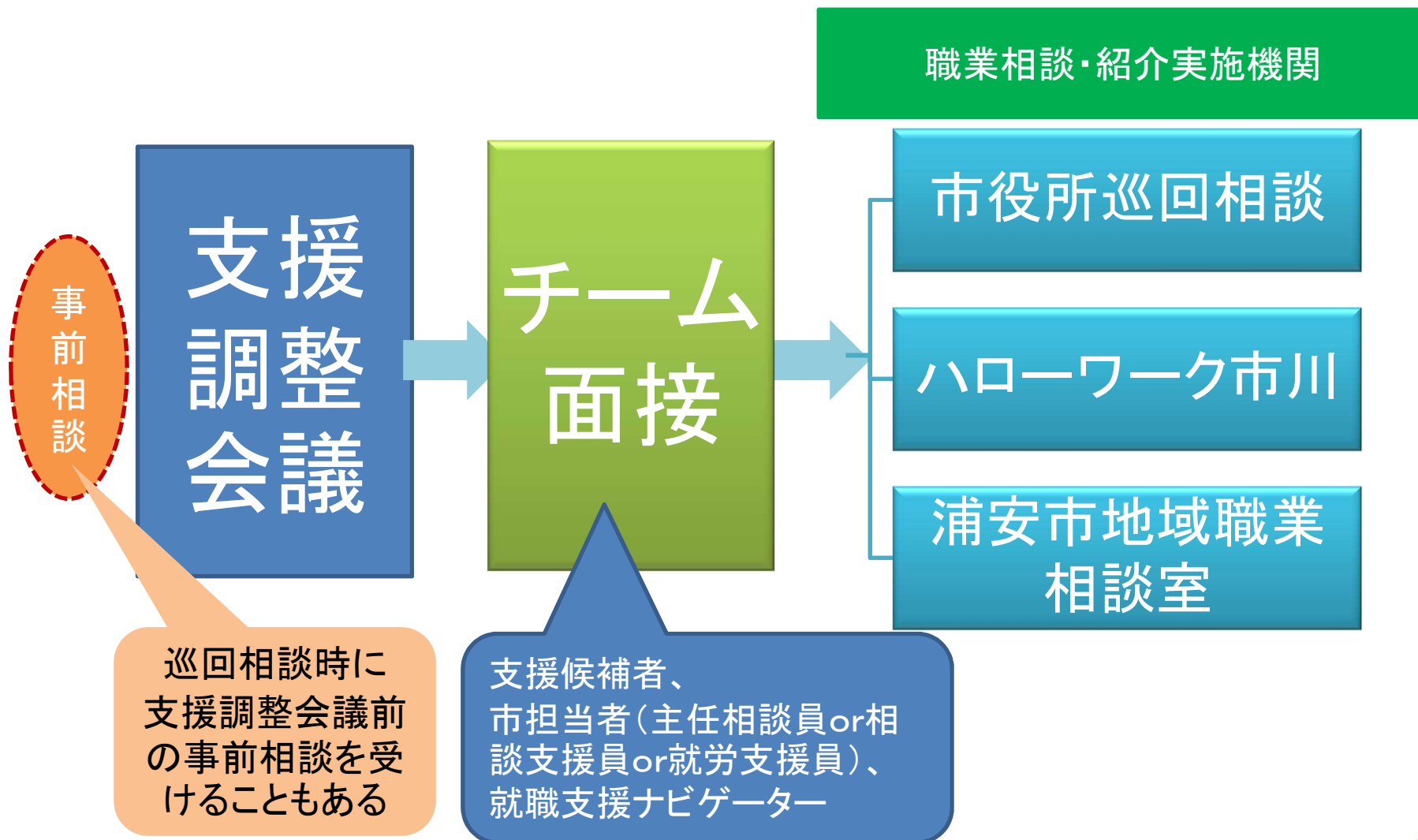


チーム面接：  
支援候補者、  
市担当者(主任相談支援員  
or相談支援員or就労支援員)、  
就職支援ナビゲーター

※平成27年12月より支援調整会議への参加が決定

# 生活困窮者支援浦安市との連携

(市とハローワークが公共交通機関等で約1時間の距離)



# 支援事例

- ①労働市場の現状を求人票を示しながら説明したことで職業選択の決め手となったケース
- ②障害者枠求人の情報提供から支援が効果的に進んだケース
- ③職業相談の都度、自立相談支援機関と歩調を合わせたことで早期就職に結びついたケース

# 事例①

## 60代男性

労働市場の現状を求人票を示しながら説明したことで  
職業選択の決め手となったケース

- **状況**: 個人請負で工作機械の設置・修理に従事  
怪我で3か月入院中に家賃・電話代滞納で  
生活困窮
- **本人の希望**: 長年続けてきた前職は年齢的に厳しいと感じ  
別職種での就労を検討したい
- **課題**: 年齢面から未経験の仕事に就職する難しさ  
経験と別職種で就職した際の生活レベルの維持
- **プラン**: 最低生活費の割り出し(家計相談事業との連携)  
応募できそうな別職種求人への提示  
前職継続の可能性の検討
- **結果**: 支援開始1か月未満で前職への復帰を本人自ら決意

# 事例②

## 20代男性

### 障害者枠求人の情報提供から支援が効果的に進んだケース

- **状況:** 聴覚障害(身体障害者手帳取得)  
直近まで仕事をしていたが希望の仕事内容と違っていただけで同僚ともうまくいかず退職に至る  
住居確保給付金受給中
- **本人の希望:** グラフィックデザイナー(実務経験有)
- **課題:** 手話を使わなくてもコミュニケーションが取れるが、正確に理解していない部分が多々見受けられる  
→前職の就職決定時にも本人と事業所間で認識のずれがあったとも想定
- **プラン:** 上記課題を把握した上での職業相談・紹介  
本人にも課題の認識を促す  
障害者枠での求人検索およびマッチング
- **結果:** 支援開始3か月が経過し内定数社有り

# 事例③

## 40代男性

職業相談の都度、自立相談支援機関との歩調を合わせたことで  
早期就職に結びついたケース

- **状況:** 平成23年～無職、預金を切り崩して生活  
内科疾患有(月1回通院)、電気工事士資格有
- **本人の希望:** 資格を活かしての就職、安定収入  
今よりも低家賃の住宅への転居
- **課題:** 不安定就労を繰り返してきたためか自己肯定感が低い  
理解力に若干の不安要素あり
- **プラン:** まずは達成しやすい目標から設定  
応募書類の見直し・求人のマッチング  
面接練習
- **結果:** 支援開始3か月でビル設備管理職で就職

# 生活困窮者支援におけるハローワークへの期待 (就労支援分野)





# ハローワークと連携するメリット

ハローワークの各種制度利用の細かい案内ができる

求人情報の目利きができる *point*

仕事紹介時に支援対象者に即した個別のアピールができる

複数の視点からの支援ができる

支援が必要と思われる方の早期発見につながる

## ハローワークの各種制度利用の 細かい案内ができる

- 未経験者前提求人：トライアル雇用制度
- 公的職業訓練制度 など

ハローワーク市川では.....

支援対象者が求職者支援訓練受講申し込みをする際は、本人了解のもと、職業訓練相談窓口利用時に担当の就職支援ナビゲーターが同席している。

求職者支援訓練に合格が決まった方で職業訓練受講給付金の申請を行う場合、提出書類が多岐にわたるため、準備にかかる質問等への対応・アドバイスを迅速に行える態勢を整えている。

# 求人情報の目利きができる

- 支援対象者にマッチする求人検索
- 求人票記載以外の詳細内容の把握
- 最新の求人情報の把握
- 地元事業所情報の把握

# 仕事紹介時に支援対象者に即した個別のアピールができる

## 支援対象者のプラスアルファの情報を伝えて事業所担当者へ紹介を行う

例えば.....

- 求人票記載の最終学歴条件は合致していませんが、募集職種の経験が〇〇年あります。面接していただけますか？
- 運転手として経験豊富で尚かつゴールド免許をお持ちの方です。
- 仕事のブランクはありますがPTAの資料作成等でPCは使い慣れている方です。

# 複数の視点からの支援ができる

就労阻害要因の見立てなど  
複数の視点からの見解を共有することが  
効果的な支援につながる



# 世阿弥の「離見の見」

能の能楽師 世阿弥の著書「花鏡」から

我見

……演者自身(自分)の目  
支援者(相談員)としての目

離見

……観客(他者)が自分を見る目  
支援対象者がどう見ているか  
(どう感じているか)

離見の見

……観客からの目を自分の目として捉える  
相談全体の流れを把握する目

→客観的に自分の相談を見ることは難しい。  
複数の視点があってこそ相談全体の流れが把握できると考えられる。

# 支援が必要と思われる方の早期発見につながる

## ハローワーク市川の取組例として

- 通常の職業相談窓口利用者に対し、経済面への不安等を感じさせる発言があった場合に、さりげない声かけとともに必要に応じ自立相談支援機関の窓口を案内している。
- 雇用保険受給手続きに来た方で受給資格がなかった場合は就職支援ナビゲーターへつなぎ相談内容に応じ自立相談支援機関の窓口を案内している。

# 今後の展開について

- 連携.....  
自立相談支援機関の支援員・ハローワークの就職支援ナビゲーターとの「人」と「人」のつながりから始まる

稼働年齢層の自立には「就労支援」は重要なポイント！  
支援対象者の複合的な課題を共有  
互いに共通の事業目標を持ち支援の進捗状況を確認しながら進めていく

- 「より多くのケース実績を残していくこと」が事業としての連携につながる





最後にもう一度……………

支援対象者に対する想いは同じ

ハローワークと連携し

チームとして

やっけていきましょう！

ご清聴ありがとうございました

# 市川市(千葉県)の一体的実施

平成26年11月25日事業開始

市川市生活支援課に「就労サポートいちかわ」を開設し、市と国（ハローワーク）による生活保護受給者等に対する一体的な就労支援を効果的・効率的に実施

市

支援対象者の選定・相談支援



国

職業紹介・個別相談の支援

## ① 事業内容

- ・生活保護受給者、児童扶養手当受給者、生活困窮者自立支援法の対象者等に対する就労支援

## ② 協定・事業計画

- ・市川市長、千葉労働局長・市川公共職業安定所長の間で協定(※)を締結
  - ・数値目標を盛り込んだ事業計画を相互間で策定
- (※)協定の実施及び改廃に関して互いに要望することができ、当該要望については、互いに誠実に対応する旨を規定

## ③ 運営協議会

- ・市川市、千葉労働局、市川公共職業安定所長をメンバーとする運営協議会を設置(市川市福祉部長が会長)

生活支援課と同フロア内に相談窓口を設置し、市の就労支援相談員と国の就職支援ナビゲーターによる個別担当者制の支援を実施(福祉から就労までのワンストップ)

## (1) 実施体制

### 市川市

- ・就労支援員2名  
(うち1名求人開拓員)を配置
- ・自立相談支援機関  
支援員6名

### 国(ハローワーク)

- ・就職支援ナビゲーター2名を配置
- ・求人情報提供端末2台、職業紹介端末  
2台を配置

## (2) 事業目標と取組状況

	27年度事業目標 (27年4月～28年3月)	取組状況 (27年10月末時点)
生活困窮者等に対するチーム支援 ・生活保護受給者 ・児童扶養手当受給者 ・生活困窮者自立支援法の対象者等	◇個別支援対象者数 220人	◇個別支援対象者数 98人
	◇就職件数 121件	◇就職件数 58件

# 一体的実施事業による就職成功例

女性 33歳 平成26年12月退職  
希望職種 営業・販売職  
直近の状況 3人の子供があり母子家庭のため自宅近辺での就職を希望。

## ① 抱える課題

営業、販売、製造など様々な職種を経験してきたが、いずれも数か月で退職。10歳、7歳、5歳の子供を抱え長期に働ける仕事を希望しているが、母子家庭で自分1人で子供を育てているため、自宅近辺での職探しと限定的であった。

## ② 支援内容・ポイント・経過

とても明るい性格で、職種は何でも経験してみたいので挑戦するといった方向であったため、検索した求人について業務内容・就業条件・就業時間など様々な求人条件を相談し、希望に合った求人を紹介することを行った。  
自身でも近所で探すように探し方を説明し、活動してもらった。

## ③ 結果及び就職支援ナビゲーターのコメント

応募する企業に連絡の時点で細部の条件を確認するが、残業や駅から遠いことなどでなかなか希望求人がない中、5社応募。企業の中には過去の出来事から、長く勤めてもらいたいが母子家庭の母は早期退職する者が多いとの認識を持つ所もあり、面接の前に難色を示されるケースもあった。面接で直接本人の話を聞いていただき判断して頂けるように説得するなど行った。  
結果販売職で採用を頂いた。条件も希望に近いことから、勤務することにした。

男性 平成23年10月退職(営業・資材管理)  
希望職種 特に無いが軽作業等からPC操作可

## ① 抱える課題

パニック障害があり、聞いた事を繰り返さないと直ぐに失念してしまう、集中力が続かない、緊張すると手が震えて字も書けない、という状態で、これまで就職しても長続きしていない。  
又医者からは長時間の仕事ではなく短い時間の仕事から始める事を勧められている。就職意欲は高い。

## ② 支援内容・ポイント・経過

本人も病気の事を自覚しており、単発でポストिंगの仕事を見つけたりしている事から、1日4~5時間程度のパートで、経過によってはフルタイムで管理職へ移行出来る職種を想定。試行錯誤の上職種をビルクリーニング関係に絞って行った。書類関係はアドバイスを踏まえ本人が作成、問題は面接だったが、何回も繰り返す事で慣れて行った。

## ③ 結果及び就職支援ナビゲーターのコメント

何回も面接対策を行い自信を持たせた事、本人の就職意欲の高さ、前職に拘らない積極性、ビルクリーニング技能士の資格取得を勧めた時に本人の好奇心・探究心が発掘された事が大きい  
結果大手ビル管理会社の清掃関係に就職、将来の現場管理職を目指すよう言われている。